



元旦の朝に「おとそ」といいます。と起案書を出してくれた職員がいました。その横に「おとそつて何ですか?」と不思議そうな職員。

『おとそ』とは、一年間の正月に呑む縁起物の酒であります。古きよき日本の過去の風習ですが、段々と親しんだ生活を大事に出来るよう、私達職員も風習や習慣をきちんと知り、伝えていきたいと思います。



おとそ頂きました

秋の文化祭。入居者全員で何か出来ないだろうか。童心に返り、掌にのせた絵具。綺麗だから落とすのがもったいないと仰る入居者さんの一言に笑いながら、皺の一つ一つまで写すことができました。おなに小さく作った台詞がとて入居者の娘さんが作品を見て、「母の手つて、こんどはおなに小さく作った台詞がとて成しえたを沢山運んで作成したことを書いた。」とお時間のある時に是非ご覧下さい。



年内最後の行事 【お餅つき】

昨年は餅をつくるのは職員ばかりでしたが、今年は「見てらんねえ。こうするんだ!」とばかりに入居者さんが参戦。心配し駆け寄る職員などなんの苦しそうな程、おかげでさすがに教えるかのように指導していました。

